



学校だより「杜の子」



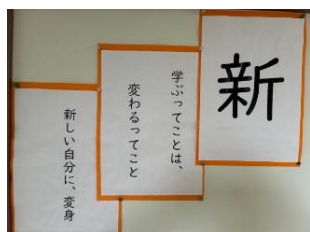
市川三郷町立
上野小学校

発行者（文責）
校長 保坂 久信

「1学期の振り返り」

～終業式の校長の言葉より～

みなさん、おはようございます。1学期の始業式で「たくさん学んで、毎日新しい自分に生まれ変わって、変身しましょう」と話しました。みなさんがよくがんばったので、多くの人が、たくさんの学びによる



変身をすることができたのではないかと思います。

でも、この変身はみなさん一人の力でやりとげたわけではありません。先生方、

お友達、ご家族、みんなのおかげで、たくさんの学びが成立したはずです。ぜひ、児童会が感謝を伝えている「なかまラジオ」放送のように、今日は1学期の感謝を、「ありがとう」を、たくさんの人に贈ってください。

4月は、始業式、新任式、入学式、1年生を迎える会、家庭訪問がありました。登校し始めた1年生のために、上級生のみんなが、持っている優しさを形にしてみせた4月でした。



5月は、授業参観、児童総会、2年生の町探検、4年生の社会科見学がありました。素晴らしい児童総会のことを覚えていますか。上野小学校を楽しい学校にするためにみんなで決めたことは、今、みんなで大切

に守ることができていますか。



6月は、修学旅行、プール開き、3年生の歌舞伎公園、5年生の林間学校、授業参観がありました。みなさんの活動が大きく外に広がった6月でした。



そして、7月。4月からの学びを振り返りながら、今日の終業式を迎えました。夏休みを無事に過ごし、1学期よりも、2学期はもっと、もっと、もっと頑張ろうって気持ちをつくって、また、会いましょう。夏休みが、みなさんにとって楽しくてたまらないものとなるように、祈っています。以上です。

～地域みなさまへ～ 1学期の間、上野の子供たちへの温かなご配慮、ありがとうございました。多くの応援もいただきました。感謝いたします。

1 学期の子供たちの様子

1 年生



2 年生



3 年生



4 年生



5 年生



6 年生



全校児童、138名が1学期の成長を土台に、2学期も頑張ります。地域のみなさまのさらなる応援をよろしくお願いいたします。

「伸びよ 杜の子」～おもうちこと～



世界はさまざまな課題に満ちているが、その中で、果たして、上野の子供たちは幸せな毎日を送ることができるのだろうか。ふ

と、そんなことが頭をよぎることがある。

子供の権利条約。18歳未満の全ての子供が持つべき「当たり前の権利」を定めた国際的な約束事である。「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの原則があり、「子供はただ守られるだけの存在ではなく、一人の人間として尊重されるべき存在である」という考え方に基いているのだが、世界を見渡すと地域による格差が明確に感じられる。ウクライナ、パレスチナ、シリア、イエメン、アフガニスタン…。

終業式の際、児童会役員が全校児童に向けて「平和について考えよう」というメッセージを送る時間があった。今年は戦後80年となることや平和について考えるきっかけとして、ニュースやテレビ番組に興味を持ってみようという提案を、言葉と映像を使ってプレゼンテーションしてくれた。提案を受けたそれぞれの学年から多くの意見発表者が現れた。有意義な時間となった。幸せの概念はそれぞれだとは思いますが、上野小学校は子供たちの幸せな笑顔がそこかしこに見られる学校であってほしい。

子供たちが成長するためには、日常生活から少しずつ幅を広げ、社会全体に目を向けることが役に立つ。将来どんな生き方をしていくか、幅広く世の中を知ったうえで、決断してくれることを願う。自分にとっての幸せとは、自分がどんな状態にいることなのだろうか、問い続けてもらいたい。

Imagine all the people

Livin' life in peace



John Lennon

